

『ドーピング』と『スポーツファーマシスト』

みなさん、『ドーピング』とは何か知っていますよね？ それでは…

Q. 『スポーツファーマシスト』 って知っていますか？

ヒント：「ファーマシスト」＝「薬剤師」

A. スポーツファーマシストとは、運動を行っている人や指導者に対して 薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などを行い、スポーツにおけるドーピングを防止する活動を行っている薬剤師の事です。
中学生や高校生でも、国体選手などのレベルになればドーピング検査対象者となるので、薬を使用する(している) 場合、スポーツファーマシストが強い味方になってくれます。

ドーピング禁止薬物は、以下の3つに分類されています。

1. 常に禁止されている薬物 …… 普段の生活でも使用禁止！
2. 競技会において禁止される薬物 …… 全国大会などの、規模の大きな大会では禁止！
3. 特定の競技において禁止される薬物 …… 競技によって違いがあります。

私の薬は大丈夫？

上記の2. や3. のように普段の生活では使用できる薬もあるので、自分の飲んでいる薬は大丈夫か、または使用してよい時期かなどの確認が必要です。

毎年1月1日に更新

ドーピング禁止表は少なくとも毎年1回、1月1日に更新されるので、変更点を把握しておく必要があります。(1月1日以外に更新されることもあります。)

市販薬などにも 注意が必要

風邪薬や花粉症の薬、漢方薬、サプリメントにも禁止薬物が入っていることがあり、それを知らずに使用してしまう『**うっかりドーピング**』につながるがあるので注意が必要です。

よくわからなかったり、迷ったりしたら、スポーツファーマシストに相談してください！



「気管支ぜんそくで薬を飲んでいるのですが、ドーピングになるのですか？」

例外として、ぜんそく治療のために一部の薬の使用が許可されています。
ぜんそくなどの持病があっても、治療しながら競技への参加ができるよう配慮されています。



「**のど飴** がドーピングの対象になると聞いたのですが…」

2017年1月1日より、「**ヒゲナミン**」が禁止薬物に追加されました。この成分は多くの漢方薬や健康食品、のど飴に含まれています。ヒゲナミンを含むのど飴の使用は避けてください。



スポーツ
ファーマシスト

スポーツファーマシストがどこにいるのか知りたい場合は **日本アンチ・ドーピング機構** より調べることができます。意外と近くにスポーツファーマシストはいますよ！（裏面を見てね）

《 出張相談会 — 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレター、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！
4月25日 16時15分～17時15分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授（学校薬剤師）大柳賀津夫
北陸大学薬学部薬学科5年生 喜友名侑舞・仲田里穂